

さあ！森のウォーキングへ！

秋の草花、木の実をついばみにくる鳥たち。
豊かな自然に囲まれながら森の散策を楽しんでみませんか。
市内18区の区役所では、独自の散策マップの他、地図情報システムにより、様々な健康ウォーキングルートを紹介しています。
ルートに記載されている市民の森、ふれあいの樹林は、一般公開されていますので、立ち寄ってみてはいかがでしょうか。
また、市民の森ガイドマップ（全21種類・無料）も合わせてご利用ください。みどりアップ推進課、市庁舎行政サービスコーナー、各区の広報相談係で受け取ることができます。

『市民の森』『ふれあいの樹林』は、市内の緑を守り育てるとともに市民の皆さんの憩いの場として御利用いただくために、山林所有者の方々の御好意により山林を使用させていただくものです。また森の草刈り・清掃は地元の方々でつくられた愛護会や森づくり活動団体が行っています。利用者の皆さんは山林所有者や管理されている皆さんの善意を尊重し、大切に利用して下さるようお願いいたします。また、日の出から日没の時間帯にご利用をお願いします。

各区の健康ウォーキングルートと散策マップ

★ミドリウォーキングマップ

緑区内ウォーキングコース（15コース）の紹介、緑区の歴史がわかるような施設、市民の森等、見どころも掲載しています。



問合せ先 緑区福祉保健課
TEL：045-930-2357

★いたち川散策マップ『散策コース』

栄区のいたち川周辺の自然を満喫できる4コースを掲載しています。

カドタヤ小島書店（本郷台駅前）・栄区内地区センターで販売しています。≪1冊100円≫

問合せ先 栄区区政推進課
TEL：045-894-8161



みどりアップ健康ウォーキング

自然観察ガイドを交えて緑地への理解を深めながら、ウォーキングで体を動かします。今後は右記のコースを予定しています。広報よこはま「はま情報」等でご案内いたします。



距離約 **65** km ●開催日●11月26日 月曜日

▶上星川駅～仏向矢シ塚公園～たちばなの丘公園～陣ヶ下溪谷～上星川駅（予定）

距離約 **70** km ●開催日●12月8日 土曜日

▶三ツ境駅～追分市民の森～上川井市民の森～瀬谷市民の森～瀬谷駅（予定）

距離約 **60** km ●開催日●12月22日 土曜日

▶金沢文庫駅～手子神社～関ヶ谷市民の森～朝比奈北市民の森～大道中学校前バス停（予定）

救急救命講習
(AED講習)
開催決定

平成31年

3/7 木



AEDの貸出を受けている団体は、必ず受講してください。

問合せ先 環境活動支援センター TEL：045-711-0635

◇次号の発行予定◇NO.99は平成30年12月末頃の発行予定です。

平成30年11月発行

横浜みどりアップ 葉っぱ

よこはまの森 ニュースレター

No.98

横浜市環境創造局みどりアップ推進課 〒231-0017 横浜市中区港町1-1 tel 045-671-2624 fax 045-224-6627
【よこはまの森ニュースレターHPアドレス】http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/kyoudou/morivolunteer/mori-news.html

保険の適用範囲 今一度ご確認を！

森づくり活動団体の方々には、活動に際し、活動団体構成員の傷害及び第三者への損害のための保険に加入することを願っています。（横浜市市民協働による森づくりに関する要綱第16条参照）

活動中のケガや事故に備え、必ず加入してください。

保険によって対象となる内容は異なります。適用範囲を確認し活動内容にあった保険への加入をお願いします。

「横浜市市民活動保険」について

ここでは、横浜市市民活動保険について紹介します。
※この保険では対象外となるものもありますので、活動内容に合わせて別途保険に加入するようにしてください。

❗ 保険料や事前の加入手続きは不要です。

（横浜市が市全体の市民活動を対象に保険に加入し、保険料を負担しています。）

❗ 市内に活動拠点を置き、ボランティア活動を行っている方のうち、次の4つの要件を全て満たす活動が対象となります。

- 1 自主的に構成されたグループや個人、地域住民組織である自治会町内会が行っている活動
- 2 無報酬の活動
- 3 継続的・計画的に実施されている活動
- 4 公益性のある活動

❗ 愛護会が「委託契約」に基づき実施する活動は対象外となります。

他にも、ボランティア活動のための様々な保険があります。
お近くの保険会社や保険代理店でご相談ください。

【参考 WEB】横浜市ホームページから「市民活動保険」で検索 [市民活動保険](#) 検索



確認ポイント

ボランティア活動保険ではチェーンソーを使用する森林ボランティア活動そのものを補償対象外としているとのことです。つまり、チェーンソーを使用している人が1人でもいれば、その活動すべてがボランティア活動保険の対象とならない、と解釈されるということです。

ボランティア行事用保険

- 問合せ先 横浜市社会福祉協議会
- 対象者 行事主催者および共催者、参加者
- 対象活動 ボランティア活動行事（先生・生徒を対象とした学校管理下にある行事は対象外）
- 掛金 1日1名 28～248円（最低加入人数20名）

ボランティア活動保険

- 問合せ先 横浜市社会福祉協議会
- 対象者 ボランティア個人、ボランティア監督義務者等
- 対象活動 ボランティア活動（チェーンソーを使用する活動は対象外）
- 掛金 1名につき 年 350円～710円

スポーツ安全保険

- 問合せ先 公益財団法人 スポーツ安全協会
- 対象者 ボランティア個人
- 対象活動 ボランティア活動（チェーンソーなど動力機械の使用含む）やスポーツ活動
- 掛金 成人1名につき年 800円～1,850円

グリーンボランティア保険

- 問合せ先 NPO法人 森づくりフォーラム
- 対象者 ボランティア団体の構成員や活動参加者
- 対象活動 自然観察・調査、清掃作業、チェーンソーもしくは刈払機を使用する軽作業
- 掛金 動力不使用の場合1名につき1活動 82円～164円（最低条件あり）

作業は安全第一で！

＋定期的に活動内容の点検を行い、危ないと思う作業については、皆で共有し作業内容の見直しを行ってください。
※横浜市では、安全対策について学ぶ機会を提供しています。詳しくはみどりアップ推進課にお問い合わせください。

保全管理計画を進める中で、成果確認のための生きもののモニタリングはとても重要です。愛護会等の関係者の方の努力で、「管理作業」→「調査」→「成果確認」を行っている事例を紹介します。

概要

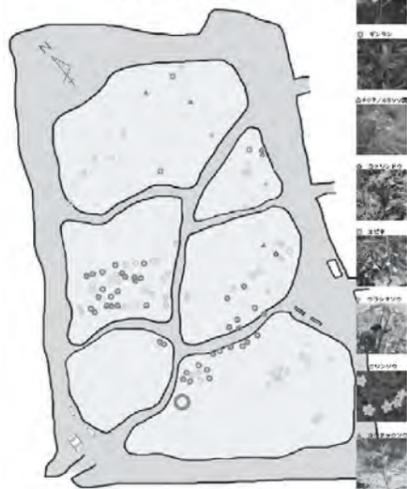
中田宮の台市民の森は、泉区中田北三丁目、市営地下鉄中田駅から徒歩15分程度の住宅地の中に残された森で平成24年に開園した市民の森です。面積は1.3ha、ほとんど平らな地形で、コナラやクヌギなどの落葉樹林が主体の比較的明るい林、外周の住宅地沿いは明るい草地となっています。平成24年度に保全管理計画を作成し、愛護会の皆さんが、園路広場、外周草地も継続して草刈等の管理を行っている他、林床の植物の開花状況も調査しています。以前は、薪炭林として利用されていた里山だったことから、林床の植生は非常に豊かで、カブトムシやクワガタムシが多くみられ、近所の子供たちに大人気です。高木がかなり大きくなり、倒木等の心配があったことから近隣の安全対策を目的に、平成27年～29年、樹木を再生させるための剪定や萌芽更新のための伐採作業を行いました。

愛護会によるモニタリング調査

エリアごとに開花株をカウントして、目印を立てています。虫捕りによる林床の踏み荒らしと花の盗掘に頭を痛めています。



目印の設置状況



平成28年5月6日現在

モニタリング調査結果

エリアごとのキンランとギンランの株数を右のグラフに示します。南エリアでは、キンランが増加しギンランが減少している傾向が見られます。これは、キンランが比較的明るい林床を好み、ギンランはホウチャクソウなどが生える比較的暗い林床を好むことから、樹木管理により林床が明るくなったためと考えられます。合計では、キンランは平成29年63株が平成30年101株(1.60倍)、ギンランは平成29年33株が平成30年56株(1.60倍)となっています。



中田宮の台市民の森

樹林管理の様子と愛護会によるモニタリング

草地になっている。モンシロチョウがみられる。

フキを除去した成果でエノコログサやメヒシバが増えた。冬鳥を呼び出すことができる。

枯木にカブトムシが多い。

冬に草刈りと落ち葉かきをしたエリア。カブトムシの頭(アオバズクの食痕)があった。

アカガシ 萌芽4年目
台場切り後初めて結実を確認

クヌギ 萌芽4年目
たくさん実をつけている。

今年は1000個以上

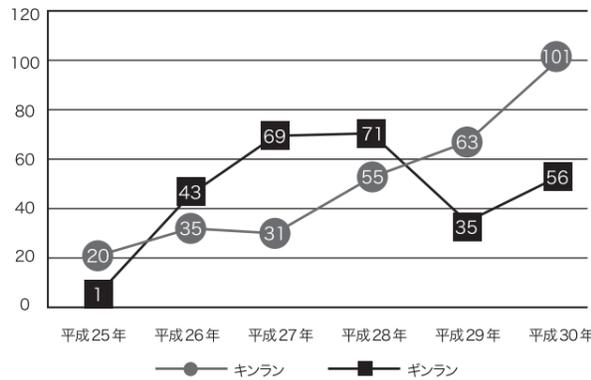
常緑高木を残して、南からの日を遮る。常緑低木は伐採する。

日当たりが良くなると、オカメザサの勢いが増し、野草に影響がある。

笹を刈り取ると、さらに林床再生の効果がある。

キンラン・ギンラン モニタリング

■総数の推移



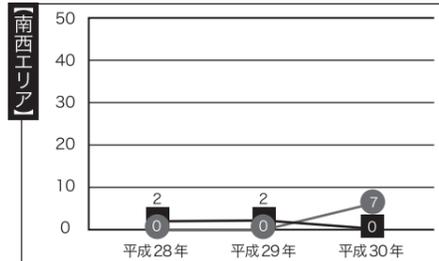
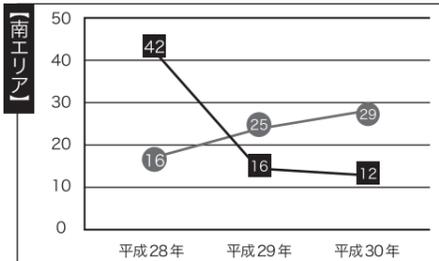
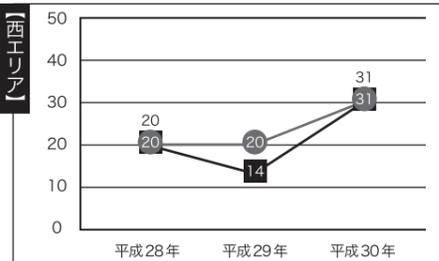
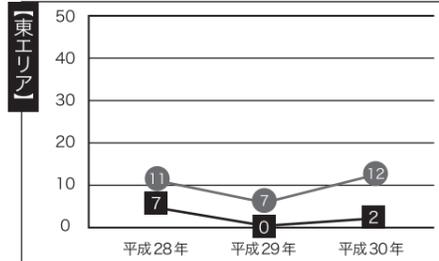
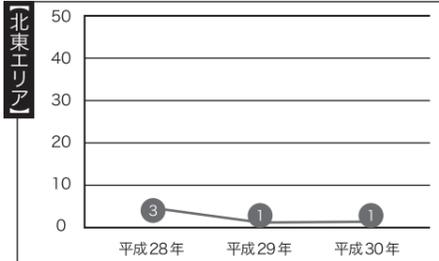
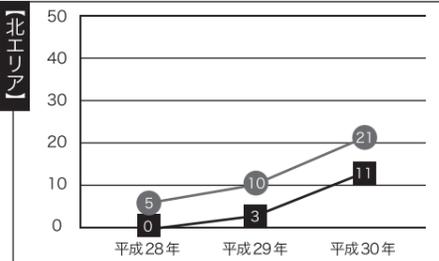
■キンラン開花株数

エリア	北		北東		東		西		南		南西		計	
	株数	増加率	株数	増加率										
平成25年													20	
平成26年													35	1.75
平成27年													31	0.89
平成28年	5		3		11		20		16		0		55	1.77
平成29年	10	2.00	1	0.33	7	0.64	20	1.00	25	1.56	0	0.00	63	1.15
平成30年	21	2.10	1	1.00	12	1.71	31	1.55	29	1.16	7	7.00	101	1.60

■ギンラン開花株数

エリア	北		北東		東		西		南		南西		計	
	株数	増加率												
平成25年													1	
平成26年													43	43.00
平成27年													69	1.60
平成28年	0		0		7		20		42		2		71	1.03
平成29年	3		0	0.00	0	0.00	14	0.70	16	0.38	2	1.00	35	0.49
平成30年	11	3.67	0		2		31	2.21	12	1.16	0	0.00	56	1.60

■エリア別推移



愛護会の皆さんの活動の成果を発表する企画の第三弾として、中田宮の台市民の森での活動を紹介します。バックナンバーはホームページでも読むことができます。こちらをご覧ください。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/kyoudou/morivolunteer/mori-news.html>

さらにこれから

ニホンキジ【南エリア】

日本の国鳥。以前は畑などでよく見られたが、横浜では少なくなっている。明るい草地があることで、見られるようになった。



実生のコナラ→林を育成【南西エリア】

クヌギ・コナラを主に市内雑木林の樹木が優先している林。大きくなり過ぎて危険な高木をポイント切り(※)や台場切り(※)の作業を行ったため、明るくなっている。そのため、コナラの実生がたくさん出ているが、笹も多い。コナラを残すため、手作業で笹を除去することが必要。



カブトムシ・クワガタムシ【北エリア】

子供たちがたくさん採るが、昔自分たちもやったことと、愛護会の皆さんは見守っている。萌芽更新で、昆虫も増えている。大人や業者が採集するのは防ぎたい。



フキの除去→冬鳥【北エリア】

愛護会のみなさんが林床のフキの除根を精力的に行ったので、「メヒシバ」などの草本が増えてきている。草の実が増えると、冬にホオジロ、カワラヒワなどの小鳥が餌を食べに訪れるようになる。

愛護会より

大きくなり過ぎて危険な高木を台場切り(※)してから6年。切り株の脇から見事に再生したコナラ。一年を通して行っている地道な関わりが、森に新しい息吹きを促し、少しずつ再生しています。近隣の愛護会とも協力し、人、森、仲良くつきあっていきたい。(北目会長)

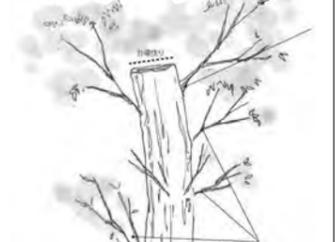


市民の森では以下のような考え方で樹木を管理しています

※ポイント切り・台場切り

台場切りのイメージ

萌芽更新を目的として樹木を切る場合、樹種や目的により、樹木の活力を損なわない程度を模索し、切る高さを変える。ポイント切りは、概ね4～8m程度、台場切りは、概ね人の目線の高さ。



28年度フクロアザミアップ研修報告書「宮沢ふれあい樹林」より